C102:行きたいライブのスケジュール 《

あなたは 2 つのバンド A, B のライブに行きたいと思っています。全てのライブに行こうと思っていますが、31 日まである今月は、2 つのバ ンドのライブが被っている日と被っていない日があります。

そこで、ライブの日付が被っていない日は、ライブがある方のバンドのライブに行くことにし、日付が被った日は、バンド A からバンド A の ライブとバンド B のライブを交互に行くことにしました。バンド A, Bのライブの日程が与えられるので、今月の i 日目 (1 ≤ i ≤ 31) にバン ド A とバンド B のいずれのライブに行くかを表す文字列を出力してください。

入力例 1 の場合、バンド A のライブは 6 日、バンド B のライブは 5 日あります。まず、12 日目はバンド A, B 両方のライブが入っていま

す。今月最初のライブが被っている日なので、12 日目はバンド A のライブに行くことになります。

くことになります。同様に、15 日目も被っているので、15 日目はバンド A のライブに行くことになります。

13 日目は、バンド B のライブしかないので、バンド B のライブに行くことになります。 14 日目は、ライブが被っており、前回、ライブが被った 12 日目は、バンド A のライブに行くことになっているので、バンド B のライブに行

バンドAの バンドBの ライブ 日 スケジュール ライブ ライブ 被っている 12 0 0 В 13 X 0 被っている В 14 0 0 被っている A 15 0 0 26 0 X 被っている 27 В 0 28 Α 0 X

上記日程以外は x

▶ 評価ポイント

10回のテストケースで、正答率、実行速度、メモリ消費量をはかり得点が決まります。 より早い解答時間で提出したほうが得点が高くなります。

- 1. 複数のテストケースで正しい出力がされるか評価(+50点)
- 2. 解答までの速さ評価 (+50点)

入力される値

入力は以下のフォーマットで与えられます。

M a_1 a_2

> . . . a_M

N b 1

b_2 . . . b_N

・続く M 行のうちの i 行目 (1 ≤ i ≤ M) には、バンド A の i 番目のライブの日を表す整数 a_i (1 ≤ a_i ≤ 31) が与えられます。

・1 行目に A のライフ日数を表す整数 M か与えられます。

- ・ 続く 1 行には B のライブ日数を表す整数 N が与えられます。 ・続く N 行のうちの i 行目 (1 ≤ i ≤ N) には、バンド B の i 番目のライブの日を表す整数 b_i (1 ≤ b_i ≤ 31) が与えられます。
- ・入力は合計で M+1+N+1 行となり、入力値最終行の末尾に改行が 1 つ入ります。
- それぞれの値は文字列で標準入力から渡されます。標準入力からの値取得方法はこちらをご確認ください 🕒

■ 期待する出力

- a_1 a_2
- a_31
- 期待する出力は31行からなります。
- ・バンド A のライブに行く場合は、大文字アルファベットの "A" を出力してください。 ・バンド B のライブに行く場合は、大文字アルファベットの "B" を出力してください。

行目 (1 ≤ i ≤ 31) にはそれぞれ今月の i 日目にバンド A とバンド B のいずれのライブに行くかを表す文字列を出力してください。

- ・ライブがない場合小文字アルファベットの "x" を出力してください。 ・出力最終行の末尾に改行を入れ、余計な文字、空行を含んではいけません。

すべてのテストケースにおいて、以下の条件をみたします。

☑ 条件

 1 ≤ M, N ≤ 31 $\cdot 1 \le a_i < a_j \le 31 (1 \le i < j \le M)$

- $\cdot 1 \le b_i < b_j \le 31 (1 \le i < j \le N)$

6 12

入力例1

- 14
- 15 26
- 27
- 28
- 12 13
- 15 27

出力例1

- В

入力例2 3

- 1 2
- 1 2

3

出力例2

- В